

(iv)

テーマセッション1 「カルシウム添加型マグネシウム合金展伸材創製のための最新技術開発（難燃性マグネシウム合金展伸部材創製のための最新技術開発11）」

Latest technology development on wrought magnesium alloys with calcium addition (Latest technology development on flame-retardant wrought magnesium alloys for manufacturing structural parts 11)

趣 旨：

Mg-Al合金にカルシウムを添加した「難燃性マグネシウム合金」は、優れた難燃性を有するため、高い安全性が必要とされる鉄道車両構体等への適用が検討されている。また、Mg-Zn合金に微量のカルシウムを添加した合金は、優れた室温成形性を有するため、高いプレス成形性が必要とされる自動車構造部材等への適用が検討されている。第127～140回大会では、「難燃性マグネシウム合金展伸部材創製のための最新技術開発1～10」が企画され、難燃性マグネシウム合金を始めとする、カルシウム添加型マグネシウム合金展伸材の最新研究開発について、活発な議論が行われた。本テーマセッションにおいても、当該合金展伸材の最新の研究成果を広く募り、討論を通じて、今後の方向性を継続的に探る。

世話人： 榎 学（東京大学）、宮下 幸雄、中田 大貴（長岡技術科学大学）、向井 敏司（神戸大学）、瀧川 順庸（大阪公立大学）、濱田 繁（九州大学）、清水 和紀（三協立山株式会社）、城戸 太司（不二ライトメタル株式会社）、山崎 一正、佐藤 雅彦（日本金属株式会社）、山田 晃司（大日本塗料株式会社）、小崎 匠（日本パーカライジング株式会社）、石川 武（株式会社総合車両製作所）、田口 真（川崎重工業株式会社）、高山 亮平（株式会社TCD）、森 久史（株式会社UACJ）、行武 栄太郎（茨城県産業技術イノベーションセンター）、駒井 浩（日本マグネシウム協会）、伊藤 海太、佐々木 泰祐（物質・材料研究機構）、千野 靖正、斎藤 尚文、中津川 勲（産業技術総合研究所）、堀谷 貴雄（ISMA）

テーマセッション2 「高強度アルミニウム合金」

High-strength aluminum alloys

趣 旨：

持続可能で豊かな社会の実現のためには、材料の製造から消費、リサイクルにわたる工程全体での環境負荷低減が求められている。アルミニウム合金の高強度化は、輸送機器その他への応用を通じて、環境負荷低減を実現するための一つの重要な手段である。高強度化の手法については、近年様々な新しいアプローチが試みられており、軽金属学会においても、「高強度アルミニウム合金研究部会」で、共通試料を用いた研究の実施、情報共有、意見交換を行っている。本テーマセッションでは、アルミニウム合金の高強度化に関する合金設計・プロセス技術、高強度アルミニウム合金の実用的な機械的特性評価、高強度化機構の解析技術などに関する最新の研究成果を広く募り、討論を通じて、高強度アルミニウム合金に関する課題を明確化して今後の研究の方向性を探りたい。

世話人：倉本 繁（茨城大学）

## 軽金属奨学会「特別奨学生」セッション

第141回大会より、公益財団法人軽金属奨学会との共催により、軽金属奨学会「特別奨学生」セッションを定期的を実施する。軽金属奨学会では、軽金属学術界の人材育成のため、軽金属に関する教育機関に在学する有為の学生に対し、研究に専念する時間を与え、創造性に富んだ研究者を育成することを目的に学費および研究費を交付している。本セッションでは特別奨学生の研究成果を発表するとともに、特別奨学生制度の紹介も行うので、軽金属学会会員、とりわけ、博士課程を目指す学生会員の聴講を期待する。

### 参加費の振込みについてお願い

事務局での入金確認のため、申込者ご本人以外、例えば、大学、企業等から参加費を銀行振込みされる場合は、必ず、①申込者名および申込受付No.、②振込日、③振込金額、をFax：03-3538-0226またはE-mail：shomu@jilm.or.jpにご連絡ください。ご協力を宜しくお願いします。